

一般会計討論

反対討論

岡前 治生議員

日本共産党議員団を代表して反対討論を行う。

1点目には新庁舎設計監理委託料が計上されているが新庁舎を急いで建てる必要性は全くない。2点目には投資的経費の中で、一番多いのは土木費の9億6000万円であり、財政が厳しいのであればこの予算にこそメスを入れるべきである。一般会計予算総額は、222億円もあり、合併したスケールメリットをいかし、お金の使い方を改めれば、住民サービスの低下や住民負担の増加は十分に避けられる。

以上、主な点を指摘して反対討論とする。

賛成討論

岩路 昭美議員

個々には住民負担の軽減やきめ細かな福祉施策に配慮されているとはいえ難く賛成しかねる点も多々あるが、市政の血肉たる一般会計の全否定の論拠にはならない。当局も窮屈な財政状況の中で検討され期待すべき新たな芽も伺える。予算特別委員会では全委員が熱心かつ真剣な意見や提言をし、全員一致で承認に至っている点は重く受けとめるべきだ。この全委員の思いは庁舎建設の付帯決議を含め適切な執行、見直しが為されるとの期待をこめて本予算に賛成する。

水道事業特別会計予算

生活基盤の整備を進めることを重点に新設、改良、補修事業に取り組み
市民全体が快適で安心のまちづくりを実現する。

賛成討論

内海 利為議員

上水道事業については全市100%目標の水道網完備の達成には、多額の資本的支出もやむを得ないものがあります。また、安全で良質な水道水の安定供給と安定経営を継続するには、今後接続率の向上により、水道水の使用推進を図ることが強く望まれる。水道の基本である安全・安心・安定の大原則に忠実な予算であり、本案に賛成する。

反対討論

山下 由美議員

日本共産党議員団を代表して反対討論を行う。

水道法の基本として「清浄にして豊富低廉な水の供給を図る」とうたわれているが、旧山崎町の水道料金の高さは際立っている。18年度予算の損益計算書では、当年度純利益が7,121万円となっており、この利益を圧縮すれば水道料金の引き下げも可能であり、損益勘定留保資金は18年度末で12億3千万円余あり、これらの財源を活用すれば大幅な引き下げも考えられる。

山崎簡水では、配水能力の70.9%しか利用されておらず、料金を引き下げて、使用量増加により収入を増やすべきです。以上の主な理由により本案に反対する。

賛成討論

岸本 義明議員

簡易水道事業については新年度歳出予算総額のうち千種市民局管内の施設整備事業として9億9千万余りが計上されている。平成16年度に着手し、平成20年度の完了を目途に事業推進が図られており、生活向上に大きな期待が寄せられております。

今後の課題として、水道料金を低く抑えるためにも接続率の向上が最重要課題であり、徹底した推進説明が望まれます。施設の維持管理については、統一した取り組みを行い、効率の経済的経営を行っていますが、水を安全に供給する管理体制に企業理念をもつ姿勢も望まれる。一層の取り組みを期待して本案に賛成します。